

第24回すさがも中山道菊まつり俳句大会入選者

平成28年11月6日～14日、すさがも菊まつりの期間中、眞性寺阿弥陀堂にて綴句箱を綴けたところ、実に493句もの綴稿をいただきました。このうち、西栗鴨小学校5年生（三浦・高橋クラス）から105句の綴稿がありました。今年も量ばかりでなく、「質」についても、優秀なものが多く、審査委員の先生方も選ぶのに苦労されたとの報告をいただいております。以下、入選作を発表します。

●特選

菊の香や車椅子より腰浮かす

篠田じゅん子（中央区）

●一席

菊まつり脇に震災供養塔

佐藤 雅康（大和市）

●二席

さりげなく妻を誘うて菊見かな

大石 坦（文京区）

●三席

キリンさんきくにかざられ天空へ

林 瑛久（大田区・十歳）

●特別賞

菊の香や無口となりて杖の母

久保田 陽子（北区）

●すかもん賞

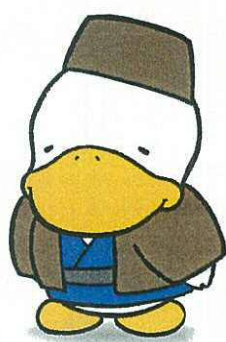
またみたいこのふうけいとこのきくを

まつもとあおい（川口市・八歳）

●佳作

八十路なお肩よせ歩く菊まつり
乱菊に言葉交はして括りけり
母と児の会話はずむや菊の龍
見る人も育てし人も菊の客
亡き夫（つま）の涙にならむ菊の花
菊まつり母似になりし姉と来る
老いた義母（はは）手つなぎ歩く菊まつり
参詣の善男善女菊日和
孫生まれスガモのありがたさ菊まつり
菊の香を地蔵も纏ふ小春かな

吉川 敏子（練馬区）
石井 光子（豊島区池袋）
下町 つ古（葛飾区）
山本 雅子（豊島区栗鴨）
長谷川幸子（豊島区南池袋）
松浦 信也（文京区）
原田 紫水（新宿区）
中ノあさ子（文京区）
松本 弘美（新宿区）
志太 栄子（北区）



すさがも菊まつり実行委員会

●西栗鴨小学校の部

●特選 菊の花一つ一つに命あり

尾上 空

●一席 菊の花お寺の道を照らしてる

松原 吉郎

●二席 菊の花ぼくと一緒にぐんぐんと

青木 美心

●三席 菊の花ねぐせとかさず咲きほこる

大塚 由奈

●佳作 まちがえて菊人形に道を聞く

剣持 勇人

●佳作 菊の種三本うえて天地人

高野 吏玖



●審査委員

患忌 慎馨（菊まつり実行委員長・眞性寺住職）
柴崎 富子（俳人協会会員・春燈同人）
近藤 紋男（俳人協会会員・春燈同人）
加藤 良子（俳人協会会員・春燈同人）
吉川 隆（俳人協会会員・春燈同人）
矢田 有年（袴袴俳句会会長）
菊まつり実行委員会委員
「栗鴨面談」編集委員